

第4回輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞) 応募要項

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は、世界トップレベルの研究開発を行うネットワーク型研究所として未来共創イノベーションを先導することをそのミッションとしています。その目的を達成するための経営戦略のひとつとしてダイバーシティを推進し、その一環として女性研究者の活躍を推進しています。

そこで JST は 2019 年度に、女性研究者の活躍推進の一環として、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究等を行っている女性研究者及びその活躍を推進している機関を表彰する制度を創設しました。昨年度までの3回においては、多数の応募の中から外部有識者による選考を経て、すばらしい受賞者および受賞機関を表彰することができました。

女性研究者のより一層の活躍推進に貢献するため、今年度、第4回の公募を開始いたします。幅広い女性研究者の活躍促進に向け、大学や研究所の基礎研究部門だけでなく、企業における開発プロジェクトをはじめとするエンジニアリング、製品開発、及び多人数が関わった研究開発に携わる研究者や、女性研究者の活躍推進に取り組む機関など、広い分野からの応募を歓迎いたします。

なお、芦田基金(※)の協力により、副賞 100 万円の提供をいただきます。

※ 芦田基金は、1994 年にデザイナーの故 芦田淳 氏が、青少年育成を目的として公益社団法人科学技術国際交流センター(JISTEC)に寄附し設立された基金です。

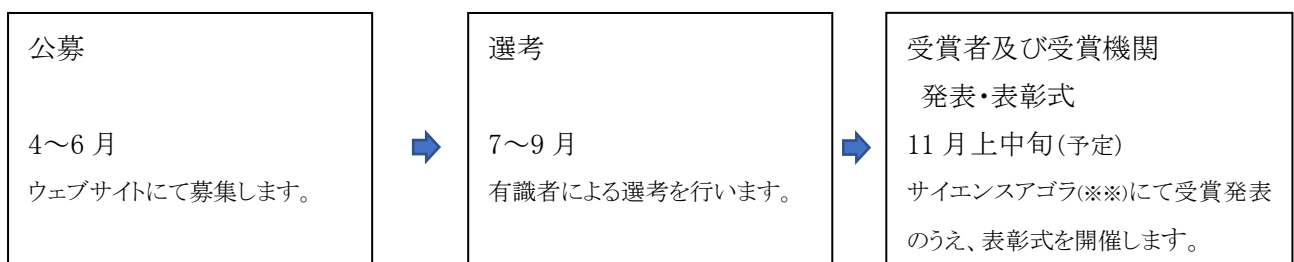
1. 主催、協力

主催 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

協力 株式会社ジュン アシダ

公益社団法人科学技術国際交流センター(芦田基金運営団体)

2. 表彰までの流れ



※※サイエンスアゴラは、JSTが主催する科学と社会をつなぐオープンフォーラムです。

3. 表彰対象

【輝く女性研究者賞】(女性研究者)

原則 40 歳未満、ライフイベント等による研究活動休止期間を勘案

科学技術に関連していれば研究分野は不問

【輝く女性研究者活躍推進賞】(機関)

女性研究者の活躍推進に貢献する、他機関のモデルとなるような取り組みを行っている機関

4. 応募

(1) 方法

応募フォームに入力し、ご応募ください。

【輝く女性研究者賞】（女性研究者） <https://form.jst.go.jp/enquetes/awmrs>

【輝く女性研究者活躍推進賞】（機関） <https://form.jst.go.jp/enquetes/aprorg>

(2) 要件

- i) 自薦・他薦とも可能。他薦の場合、【輝く女性研究者賞】は女性研究者本人、【輝く女性研究者活躍推進賞】は候補機関の了承が必要。
- ii) 女性研究者は、原則として2022年4月1日現在で40歳未満の方を対象。ただし、ライフイベント等により研究を休止した期間がある場合は、応募フォーム該当欄にその理由と期間を記入すること。なお国籍は問いません。
- iii) 機関は、企業、研究機関、学会、団体等のうち、女性研究者が所属・加入している機関や、女性研究者・技術者の活躍推進に取り組む機関が対象。
- iv) 受賞者、受賞機関代表者は、11月上中旬(予定)に東京都内で行う、受賞者・受賞機関発表及び表彰式への出席を受賞の要件とします。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の際には、表彰式の出席についてオンラインでも可とします。本賞ホームページにて改めてお知らせします。

(3) 推奨事項

研究者について、企業における開発プロジェクトをはじめとするエンジニアリング、製品開発、及び多人数が関わった研究開発など、広い分野からの応募を歓迎いたします。上記に該当する場合において、責任者等からの推薦状や、特許などの実績評価に関する貢献度が分かる根拠資料の提出を推奨します。

また、機関については、女性研究者・技術者の活躍推進に取り組む機関からの応募も歓迎いたします。

詳しくは応募フォームをご覧ください。

(4) 応募期間

2022年4月1日～6月30日日本時間正午まで

5. 表彰内容

【輝く女性研究者賞】（女性研究者）

1名、JSTから賞状、賞牌を、副賞として芦田基金から賞金100万円を授与

【輝く女性研究者活躍推進賞】（機関）

1機関、JSTから賞状、賞牌を授与

6. 選考

(1) 選考方法

選考は、外部有識者からなる選考委員会により、選考の観点に基づき実施します。

(2) 選考の観点

以下の観点を踏まえて、総合的に判断します。

【輝く女性研究者賞】（女性研究者）

- ・研究の実績
- ・取り組んでいる研究について、独創性・チャレンジ姿勢、将来性や課題解決への貢献
- ・研究以外の社会貢献等(人材育成・環境整備など)
- ・国際的な視野(海外での経験や海外研究機関との連携など)

【輝く女性研究者活躍推進賞】(機関)

- ・他機関のモデルとなり得るか
- ・他機関との連携など、広がり
- ・取り組みの効果・成果

(3)選考委員(敬称略、委員長を除き五十音順)(予定)

- ・鳥居 啓子(委員長) テキサス大学オースティン校 Johnson and Johnson Centennial 冠教授
ハワードヒューズ医学研究所(HHMI) 正研究員
- ・阿部 玲子 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル インド現地法人
取締役会長
- ・上田 修功 理化学研究所 革新知能統合研究センター 副センター長
NTTコミュニケーション科学基礎研究所 NTTフェロー・上田特別研究室長
- ・大草 芳江 特定非営利活動法人 natural science 理事
有限会社 FIELD AND NETWORK 取締役
- ・北川 宏 京都大学 大学院理学研究科 教授
- ・所 千晴 早稲田大学理工学術院 創造理工学部 教授
東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 教授
- ・村山 斉 カリフォルニア大学バークレー校 MacAdams冠教授
東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構(Kavli IPMU)
主任研究者・教授
- ・柳沢 正史 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIIIS) 機構長

(4)利益相反

JSTの規定に基づき、以下の利益相反マネジメントを実施します。

○選考に関わる者の利益相反マネジメントについて

公正で透明な評価を行う観点から、応募者及び応募機関等に関して、下記に示す利害関係者は選考に加わりません。

- 応募者及び応募機関の役員等と親族関係にある者
- 応募者と大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の学科、専攻等又は同一の企業に所属している者
 - 応募機関に所属している者
- 応募者と緊密な共同研究を行う者。(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいは応募者の研究課題の中での共同研究者等をいい、応募者と実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者)
 - 応募機関に所属する研究者と男女共同参画等のテーマについて緊密な共同研究を行う者
- 応募者と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者
- その他 JST が利害関係者と判断した者

7. 受賞者及び受賞機関発表・表彰式、広報

(1) 発表、表彰式

開催日:2022年11月上中旬(予定)

会場:日本科学未来館(予定)

- ・サイエンスアゴラにて受賞者・受賞機関発表及び表彰式を開催します。表彰式参加のための旅費等、詳細については追って受賞者及び受賞機関にご連絡します。
- ・受賞者及び受賞機関の紹介について、JSTダイバーシティ推進のホームページ(<https://www.jst.go.jp/diversity/>)等において、同日以降の掲載を予定しています。

(2) 広報等

受賞者及び受賞機関に対し、表彰式におけるセッション等のほか、本表彰の広報活動、各種行事等へのご協力をお願いすることがあります。広報等における活動内容の公開については、受賞者等関係者と事前協議を行います。

8. スケジュール

応募期間 4月1日～6月30日 日本時間正午まで

選考 7月～9月

発表・表彰式 11月上中旬(予定)

9. 個人情報の取扱いについて

応募に関連して提供された個人情報については、個人情報の保護に関する法律及び関係法令を遵守し、下記各項目の目的のみに利用します。(ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。)

- 選考及び選考に関する事務連絡、通知等に利用します。事務局またはJSTと機密保持契約を締結した委託業者から連絡をさせていただくことがあります。
- 受賞者及び受賞機関については、応募内容のうち、基本的な情報(女性研究者:氏名・所属・略歴・主な研究等、活躍推進機関:機関名・代表者名・取り組みとその状況等)を、公表させていただきます。また、表彰式等のご案内など必要な連絡用として利用します。
- JSTが開催するセミナー、シンポジウム等の案内等の連絡に利用します。案内が不要な方は応募フォームのJSTへの連絡事項欄にその旨ご記載ください。

本表彰に関わる業務委託においては、JSTと機密保持契約を締結しております。業務委託以外での第三者への情報提供や、許可なく開示することはいたしません。

応募に関連して提供された個人情報は、下記問い合わせ先(事務局)で管理します。

10. その他

- ・送信された応募内容・添付書類等は返却いたしませんのでご了承ください。
- ・選考過程及び詳細に関するお問い合わせにはお答えしません。
- ・受賞にあたり反社会的勢力排除に関する誓約書を提出いただきます。

問い合わせ先(事務局)

国立研究開発法人科学技術振興機構

科学技術イノベーション人材育成部ダイバーシティ推進室（担当：加藤、松本、伊藤）

E-mail: diversity[at]jst.go.jp([at]は@に置き換えてください)

以上